

# 議会だより



やまきた

第171号

平成24年11月1日



9月29日に開催された向原保育園運動会「マスゲーム」

## 目次

- 定例会（第3回）…………… 2
- 臨時会（第4回）…………… 3
- 委員会報告…………… 4
- 審議結果…………… 8
- 意見書…………… 9
- 一般質問…………… 10
- 来夢（こらむ）…………… 18

# 平成24年第3回定例会(9月議会)

平成24年第3回定例会が9月5日から14日までの10日間開催されました。

主な議題は平成23年度決算の認定でした。他に条例の制定・改正2件、補正予算11件、人事1件、名誉町民推挙1件、報告1件、陳情1件、意見書1件等を審議しました。

## 平成23年度決算の認定

## 一般会計及び特別会計

本会議において総体的な質疑を行い、その後、総務環境常任委員会・福祉教育常任委員会に付託し審査を行い、全員賛成で認定しました。

### 〔主な質問〕

**小栗議員** 一般会計の不用額約1億4千万円は補正予算を組めば、当年度で運用できるはず、多額の不用額を残すことに対し、どのように考えているのか。

また、歳入で大幅な減額調定をしているものがある

が、歳入を見直したら、歳出も見直すのが普通で、半分以下になるような調定額は、補正を組むべきではないのか。

**町長** 22年度から23年度にかけては、災害等の不測の事態が頻繁にありましたので、復旧等にそなえ補正しないで残しました。調定額に対しては予算の範囲で流用しています。自治会要望等については優先的に進めています。

**原議員** 将来にわたる財政負担額41億円の財政運営については、どのように考えているのか。

**企画財政課長** 将来負担比率は法的には、350%

が基準ですが、町としては一般会計予算額の100%を超えない範囲が適当と考えます。

## 条例制定

〈山北町議会広報広聴委員会に関する条例の制定〉  
議会の審議状況及び活動を町民に周知するための山北町議会広報広聴委員会について、必要な事項を定めるために、議員発議により提案するものです。

### 〔目的〕

議会改革を推進する中で、議会活動の報告・町民との意見交換会を実施していくための組織として設置しま

した。

委員会は議長を除く全議員が所属し、委員長のほか、議会誌よりの編集と議会ホームページの編集・管理を行う広報分科会(6名)及び議会報告会の計画と推進を担当する広聴分科会(6名)の13名で構成しました。

本委員会の設置により、平成25年4月に第一回の議会報告会を実施するよう準備を進めていきます。具体的な計画は1月を目途にまとめ、町民の皆様にご案内していく予定です。

## 条例改正

〈山北町暴力団排除条例の改正〉  
暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部が改正されることに伴い、本条例を改正する必要が生じたため提案されました。

## 名誉町民推挙

尾崎好美さんの功績と榮譽を称え、町民の敬慕の情をあらわすとともに、本町の社会文化の興隆に資する目的で提案されました。



名誉町民 尾崎好美さん

全化判断比率及び資金不足比率の報告)

健全化判断比率、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は適性に作成されている旨の報告がありました。

## 陳情

〈県費補助が国庫補助基準を下回らないよう財政措置をするよう県に対し意見書を提出することに対する陳情〉  
福祉教育常任委員会に付託され、県に対し提出することになりました。

(9月19日に提出)

※意見書は9ページに掲載

## 意見書

〈地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出〉  
国及び国会に対し、提出することになりました。

(9月18日に提出)

※意見書は9ページに掲載

## 報告

〈平成23年度山北町の健



### 平成24年度補正予算

#### 一般会計

歳入歳出それぞれ1億8630万7千円の増額補正です。歳入の主なもの、地方交付税の確定による1億1472万3千円の増額、前年度繰越金の確定による繰越金713万1千円の減額及び新塩沢橋建設に伴う町債の増額です。歳出の主なもの、新塩沢橋建設負担金7500万円、台風に伴う災害復旧費3240万円及び尾崎好美さんの報告会経費の増額です。

〔主査質問〕  
川村議員 新塩沢橋に関する



共和地区で実施した救助犬訓練



シカ柵

る起債は、来年度も起こすのか。

また、ロンドンオリピック出場記念碑はどこへ建てるのか。

**企画財政課長** 新塩沢橋は来年度から社会資本整備交付金に該当するが100%ではないため、起債を起すことも想定されます。

**生涯学習課長** 記念碑は、山北中学校と丹沢湖周辺を予定しています。

**渡辺議員** 最近イノシシの被害に悩まされているが、

新しい対策は考えているのか。

また、防災意識の高まっている今、自主防災組織の啓発、育成に力を入れていくべきだが。

**環境農林課長** 有害駆除については、イノシシやシカなど猟友会を通して行っています。本年9月から、丹沢湖から南側エリアについても、シカの駆除を実施します。

**総務防災課長** 自主防災資機材購入費の9割を助成しており、16の自治会から要請がありました。

**府川議員** 防災訓練でよい事例があれば、各自治会に参考資料として提案していく必要はないか。

**総務防災課長** 検討していきたい。今回の事例では、共和地区は救助犬訓練を行い、向原地区は、気象講演を実施しました。

**瀬戸(恵)議員** プール委託料の減額の理由は。

児童保育の中で特別支援級の児童の受け入れは今後も続けていくのか。

**生涯学習課長** プール委託

料の減額は入札による減です。

**福祉課長** 指導員の体制を整えば、今後も受け入れていく考えです。

#### 特別会計

〈国民健康保険事業〉

**渡辺議員** 昨年度、財源不足で1億円の借り入れをした。上期が終了した時点で1700万円の剰余金が出て一般会計に戻しているが、医療費の分析はどのようにしているのか。

**保険健康課長** 23年度医療費は、見込みより若干減少しましたが、今年度に入ると、医療費が伸びてきており、厳しい状況は変わらず、不足が生じた場合には、一般会計に頼らなければならぬ状況です。

後期高齢者医療、介護保険事業、商品券、災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、財産区(山北、共和、三保)の各特別会計は質疑がありませんでした。

### 第4回臨時会

(7月4日開催)

#### 条例改正

〈山北町重度障害者医療費助成条例の改正〉

住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴い、山北町重度障害者医療費助成条例を改正するものです。

#### 工事請負契約

〈町道鍛冶屋敷高杉線整備工事〉

契約金額6657万円  
契約の相手(株)松永組(山北町山北 代表取締役 松永高治)です。

#### 不動産の取得

〈小型動力ポンプ付積載車購入(第6分団)〉

契約金額976万5千円  
契約の相手(有)イケダオー  
ト(山北町岸 代表取締役 池田誠一)です。



現在の第6分団の消防自動車

**瀬戸(顯)議員** 昨年購入したポンプ付積載車は913万5千円だった。金額が昨年と大幅に違うのはなぜか。

**総務防災課長** 東日本大震災で本体価格や、小型動力ポンプ、車両機装費の価格が高騰したことで、装備品の消防ホースが増えたことによりです。

#### 専決処分

〈平成24年度山北町一般会計補正予算(第3号)〉  
台風4号により被災した各施設の災害復旧を実施するための経費で、29万6千円を増額しました。

# 委員会審査報告

## 総務環境常任委員会

委員長	岩本 章治
副委員長	渡辺 良孝
委員	川村 俊治
同	原 憲司
同	佐藤 光男
同	府川 輝夫
同	瀬戸恵津子

総務環境常任委員会では、平成23年度一般会計のうち、政策秘書課、企画財政課、総務防災課、環境農林課、商工観光課、都市整備課、上下水道課、定任対策室、会計課の所管に属する事項及び災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、山北・共和・三保財産区、商売券の各特別会計、水道事業会計の決算について審査し、全責賛成で原案とおり了承しました。

### 一般会計

**原委員** 町税収入が減り、災害の関係で町債が増えている。税収増は見込めないと思うが、今後の事業執行についての考えは。

**町長** 公会計制度などにより町の資産や負債の状況を分析し、適正に執行していきます。

**原委員** 中川温泉ふなの湯の指定管理者施設使用料が

大幅に減っている、その要因と今後の運営の考えは。

**商工観光課長** 東日本大震災と台風の影響が大きな要因である。今後は、自助努力での経費節減と近隣市町へのPRを積極的に行っていくます。

**渡辺委員** 電源立地対策交付金の今後の見直しは。

**町長** 東日本大震災以降、水力発電の重要性が認識されているので、制度の継続

と交付額の増額を要望しています。

**府川委員** 行政ホームページ推進事業費が22年度より減った要因は。

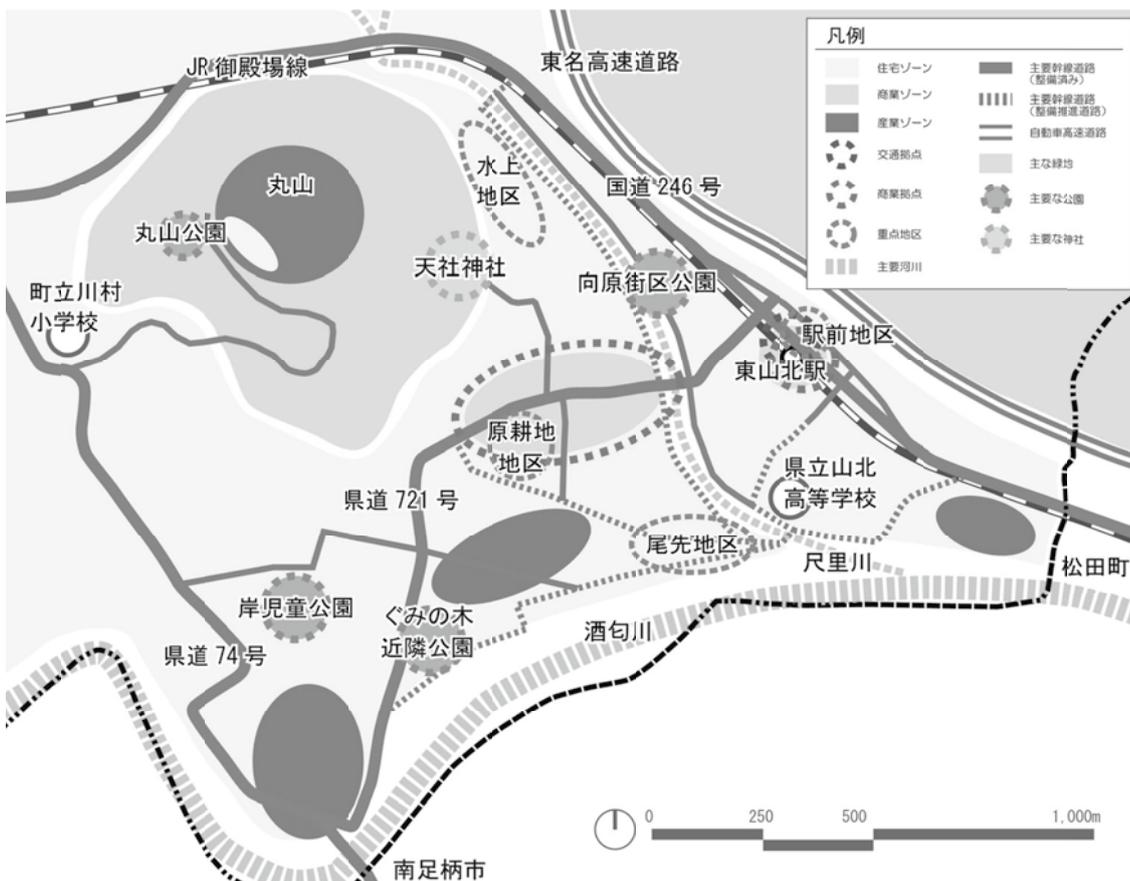
**企画財政課長** ホームページの更新等を業者委託していたが、23年度から、職員が更新するシステムに変更したためです。

**瀬戸(恵)委員** 総合計画策定事業で、決算額が当初予算額の約半分の原因は。

**企画財政課長** 23年度に実施計画を大幅に見直す予定であったが、24・25

年度の2年間で新しい総合計画を策定するためです。  
**渡辺委員** 循環バス運行

で、23年度にルートの見直しをしたが、その効果は。  
**企画財政課長** 町内の乗車



東山北1000まちづくり基本計画「まちづくり方針図」

人員は22年度に比べて減ったが、新松田から山北までの人員が増えたため、収入は前年度と同程度になっている。

**府川委員** 東山北駅周辺魅力づくり推進事業の事業費の内容は。

**定住対策室長** 東山北1000まちづくり基本計画で、水上、尾先、原耕地、東山北駅前を重点地域として、土地活用の手法などの話し合いをするための調査事業です。

**瀬戸(恵)委員** 中川地区土地活用調査業務の内容は。

**政策秘書課長** ハイッ&ヴィラながわ跡地の取得に向けての事前調査経費です。

**原委員** 住宅用太陽光発電システムの設置で今後の取り組みは。

**環境農林課長** 23年度は19件導入しました。今後も、積極的に取り組んでいきます。

**原委員** 水源の森林づくり協力協約推進事業で事業費が減っている理由は。

**環境農林課長** 王子製紙が世附で事業を実施しているが、台風等による林道の通行止めが大きな要因です。

**渡辺委員** 日向活性化施設維持管理事業で、利用拡大の方策はないか。

**環境農林課長** PR活動を行うほか、関係団体等と話し合い、申し込み手続きの簡素化を行っている。今後も向上策を検討していくと考えています。

**府川委員** 農業活性化推進事業の事業費が大幅に増えている要因は。

**環境農林課長** 獣害防止柵の資材費助成と、FA茶工場(農事組合法人グリーンティーあしがら)の機械の老朽化による一部補助を実施したためです。

**原委員** 品川区との交流の取り組みは。

**町長** 品川区とは長い付き合いですので、品川区民に「ひだまりの里」をPRしていくとともに、町からの案内を丁寧にしていきます。

**瀬戸(恵)委員** 山北ブランドは、値段に問題はないか。

**商工観光課長** やまぶき最中は10個人り1500円で販売し、少し値段を下げて販売できないか商工会と協議しています。



山北ブランド「おつむすびコロクケ」と「やまぶき最中」

か。

**商工観光課長** やまぶき最中は10個人り1500円で販売し、少し値段を下げて販売できないか商工会と協議しています。

**川村委員** 町道維持補修事業は狭あい道路の関係と聞いている。道路は箇所付けをし、執行していくものと思うが、委託料と公有財産購入費が未執行の理由は。

**都市整備課長** 狭あい道路は、箇所付けをしての予算化はしていない。23年度は申し込みがありませんでした。

**佐藤委員** 向原コミュニティ広場管理事業の金額は地代か。また課税台帳は何になっているか。支払っている地代と町が課税している固定資産税の差額がどのくらいあるのか。

**企画財政課長** 地代です。課税台帳は雑種地で、固定資産税額の2.30倍を最低ラインとして支払っています。

**商工観光課長** 茅の落下を止めるなど、町の工事が終了後、経営予定者が内部を手直し、24年度に開店予定です。

**渡辺委員** 新東名対策事業の現状はどうか。

**都市整備課長** 各地区対策

協議会と確認書を取り交わすための設計協議中で、現在約80%の段階です。

**川村委員** 町道維持補修事業は狭あい道路の関係と聞いている。道路は箇所付けをし、執行していくものと思うが、委託料と公有財産購入費が未執行の理由は。

**都市整備課長** 狭あい道路は、箇所付けをしての予算化はしていない。23年度は申し込みがありませんでした。

**佐藤委員** 向原コミュニティ広場管理事業の金額は地代か。また課税台帳は何になっているか。支払っている地代と町が課税している固定資産税の差額がどのくらいあるのか。

**企画財政課長** 地代です。課税台帳は雑種地で、固定資産税額の2.30倍を最低ラインとして支払っています。

**商工観光課長** 茅の落下を止めるなど、町の工事が終了後、経営予定者が内部を手直し、24年度に開店予定です。

**渡辺委員** 新東名対策事業の現状はどうか。

**都市整備課長** 59橋について調査し修繕計画を策定した。当面10ヶ年計画の中で、

優先度の高い橋梁の改修のため、25年度から設計費用等の予算計上を考えています。

**特別会計**

〈町設置型浄化槽事業〉

**川村委員** 維持管理費の助成は10年位が限度ということだが、その後はどうか。

**上下水道課長** 県の大綱は20年の計画で、維持管理費は最初の5年間しか助成しないとのこと、毎年強く助成期間の延長を要望しています。

**渡辺委員** 事業所関係で、県と協議した経緯はどうか。

**上下水道課長** 国の補助金は51人槽以上は定めがなく、受益者負担とのことなので、助成対象とするよう毎年粘り強く要望しています。

〈商品券〉

**府川委員** 商品券の換金率を含めた商業振興につながる評価は。

**商工観光課長** 換金率は、23年度の中途は71%。22年度は97%でした。商品券は、

必ず町内で使用するため、良い制度であると考えています。

**佐藤委員** 商店は、現金であれば即決済できるのを、換金まで何週間とかかかってしまう。それでも良い制度と考えているか。

**商工観光課長** 商品券であれば町内で使用してもらえ。今後、魅力的で使いやすい商品券になるよう検討します。

〈災害給付見舞事業・下水道事業・財産区(山北・共和・三保)〉

**水道事業会計**

**原委員** 給水人口の減少に伴い給水収益も減少している。今後の見通しは。

**上下水道課長** 水道施設は昭和30〜40年代に構築され老朽化してきている。今年度水道事業運営審議会を開催し、方向性を出していきます。

質疑がありませんでした。

# 福祉教育常任委員会

福祉教育常任委員会では、平成23年度一般会計のうち、町民税務課、福祉課、保険健康課と教育委員会所管に属する事項及び国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業の各特別会計の決算について審査し、全員賛成で原案とおりました。

## 一般会計

**小栗委員** 町税の不納欠損額が900万円を超えているが、どういう基準で処分したのか。

**町民税務課長** 1件で736万円の事例があり処分する財産がなく、生活保護を受けており、取扱規程に該当するため、不納欠損としました。滞納額は平成13年度からの固定資産税です。

**瀬戸(顯)委員** 健康福祉センター施設等使用料が、年々減少している。落ち込みの原因と、施設の維持管理を含めた対策は。

**保険健康課長** 震災に伴う計画停電等の休業が原因で

大きく落ち込んだが、6月以降は前年並みの利用者で推移しています。

施設等の維持管理は、色々ところで修繕が発生しているため、今後、採算がとれる料金体系を考えていく必要があると考えています。

**瀬戸(顯)委員** 生きがい事業団は国県の支援のもと始まり、初期の目的はある程度達成できたと思う。見直しを考えるべきだと思うが。

**福祉課長** 現在、法人化に向けて動いており、法人格を取得した段階で見直していきたいと考えています。  
**小栗委員** あしがら広域福祉センターひかりの里の運

委員長 鈴木登志子  
副委員長 瀬戸 顯弘  
委員 藤原 浩

同 石田 照子  
同 熊澤 友子  
同 小栗 直治  
同 池谷莊次郎

営への町の関わり方、山北町の利用者の状況はどうか。

**保険健康課長** 運営は、運営協議会が行っています。会計のチェックは、開成町会



食育事業  
「おやこで食育クッキング」



世代間交流「芋の苗付け」

計管理者が行っています。山北町の入所者は、現在11人です。

**熊澤委員** 老人クラブ活動事業費は、何人が活動しているのか。

**福祉課長** 世代間交流、輪投げ、生きがい農園、パークゴルフなどで、それぞれ50人から100人の方が参加しています。

**石田委員** 健康づくり事業と食育推進事業が、大幅な減額となっている理由は。

**保険健康課長** 22年度の健康づくり事業では、健康スナップアップ事業で使用する生活習慣記録機を購入し、食育推進事業では、策定した健康増進計画・食育推進計画の印刷製本費などを支出しています。

23年度の食育に関する事業は、費用自体はかかっていないが、さまざまな事業を実施しています。

**石田委員** 予防接種事業が前年と比べ1000万円ほど増えているが、理由は。

**保険健康課長** 23年度から子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌のワクチン接種を公費負担で開始しているためです。

**小栗委員** 川村小学校費の使用料及び賃借料は、節約・節電等による不用額か。

**学校教育課長** 下水道使用料の残で、学校側の節約による不用額です。

**藤原委員** カヌーのまちづくり推進事業の内容は。  
**生涯学習課長** カヌーマラ

ソン大会をはじめ、カヌー教室の開催、関東ポロカヌー大会への協力等を行っています。

**藤原委員** 一般の人が気軽にカヌーを楽しめる環境づくりが必要ではないか。

**町長** カヌーのまちづくりは国体開催から推進していますが、湖面利用等いろいろな制約があるなかで、できる限りまちづくりに取り入れていきたいと考えています。

**熊澤委員** 教育総務費の安全対策事業は、どのような安全対策を行ったのか。

**学校教育課長** 町内3小学校への入学児童に防犯ブザーと熊除けの鈴を配布しています。

**瀬戸(顯)委員** パークゴルフ場使用料は610万円の歳入見込みに対し、220万円の収入しかない。最初から見込みが甘かったのではないか。今後コース設定等精査・改善していく必要があるのではないか。

**生涯学習課長** 半年分の見込みですが、平日1日90人、日曜日・祝日150人で計



町老連パークゴルフ大会

上していました。実際は平日で70〜80人の実績であり、見込みが甘かったことは確かです。少しずつコースの改善に努め、利用者数も徐々に増えてきていますので、今後も利用の促進を図っていきます。

学校教育課長 スクールカウンセラー専用電話の経費や消耗品等です。相談件数は348件で、ケース会議への参加は63回です。スクールカウンセラーは、各中学校に1名ずつ配属されて、小学校の相談にも対応しています。



介護予防教室での綱引き

介護予防教室の利用料  
 藤原委員 運動器の機能向上事業利用料は、この施設を利用してのものか。  
 保険健康課長 高齢者いきいきセンターで実施している、介護予防教室の利用料

特別会計

〈国民健康保険事業〉  
 瀬戸(顯)委員 収入未済額のほとんどが滞納分と思われるが、どのように収入に結びつけていくのか。  
 保険健康課長 納税催促や財産処分等を行い、収入額の増加につなげていきたいと考えています。  
 小栗委員 レセプト点検は人件費をかけた以上の効果が表れ、医療費の抑制にもつながっているのか。  
 また、点検によって多受診者等も判別できると思うので、被保険者への指導も

行うべきではないか。  
 保険健康課長 レセプト点検は、疑義あるものを差し戻すなどして、例年効果的な実績が出ています。  
 また、レセプト点検を行うことは、特別調整交付金の算定基礎ともなっています。多受診者等はレセプト点検で見分けられますので、受診指導等も踏まえしっかりと取り組んでいくよう努力します。  
 〈後期高齢者医療〉  
 質疑がありませんでした。  
 〈介護保険事業〉

陳情

石田委員 居宅介護住宅改修費について何件申請があり、上限ほどの位なのか。  
 保険健康課長 41件です。上限は20万円で、9割の補助となります。  
 鈴木委員 認定調査事業費は、何人で認定調査をしているのか。また、介護認定者は何人か。施設入所の待機者は増えているのか。  
 保険健康課長 臨時職員4名で調査しています。調査件数は620件で認定者が471人、約130人が新規認定者です。  
 待機者については、グループホームが2人、特別養護老人ホームが54人です。  
 小栗委員 町から社会福祉協議会に委託している包括支援センターの事業について、町から運営等の指導を行っているのか。  
 保険健康課長 地域包括支援センターの運営は、運営協議会があり、委員14名で運営内容を協議するようになっていきます。

池谷委員 負担割合は守ってほしいということなので、意見書は出してよいと思う。  
 瀬戸(顯)委員 法定割合が守れないということであれば、意見書は出すべきだと思う。  
 採決の結果、全員賛成で意見書を提出することになりました。(意見書は9ページに掲載)

## 議案等審議の結果

### 第 4 回臨時会（7 月 4 日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
山北町重度障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定	7月4日	原案可決 (賛成全員)	動産の取得 (小型動力ポンプ付積載車購入 (第 6 分団))	7月4日	原案可決 (賛成全員)
平成 24 年度町道鍛冶屋敷高杉線整備工事請負契約の締結	7月4日	原案可決 (賛成全員)	専決処分の承認 (平成 24 年度山北町一般会計補正予算 (第 3 号))	7月4日	承認 (賛成全員)

### 第 3 回定例会（9 月 5 日～ 14 日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
山北町暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定	9月10日	原案可決 (賛成全員)	平成 24 年度山北町三保財産区特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)
山北町名誉町民推挙	9月10日	原案可決 (賛成 12 反対 1)	平成 24 年度山北町介護保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)
平成 24 年度山北町一般会計補正予算 (第 4 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)	平成 24 年度山北町商品券特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)
平成 24 年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)	山北町教育委員会委員の選任	9月10日	同意 (賛成全員)
平成 24 年度山北町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)	山北町議会広報広聴委員会に関する条例の制定	9月10日	原案可決 (賛成全員)
平成 24 年度山北町災害給付見舞事業特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出	9月10日	原案可決 (賛成全員)
平成 24 年度山北町下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)	平成 23 年度山北町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定	9月14日	認定 (賛成全員)
平成 24 年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)	平成 23 年度山北町水道事業会計利益の処分及び決算の認定	9月14日	可決・認定 (賛成全員)
平成 24 年度山北町山北財産区特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)	神奈川県放課後子どもプラン推進事業の県費補助に対する意見書の提出	9月14日	原案可決 (賛成全員)
平成 24 年度山北町共和財産区特別会計補正予算 (第 1 号)	9月10日	原案可決 (賛成全員)	平成 23 年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告	—	報告のみ

※池谷荘次郎議長は、採決に加わりません。

## 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林のもつ地球環境保護、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、我が国は京都議定書において、第 1 約束期間である平成 20 年から平成 24 年までの間に、温室効果ガスを 6%削減することが国際的に義務付けられているが、そのうち 3.8%を森林吸収量により確保としている。

このような中「地球温暖化対策のための税」が平成 24 年 10 月に導入される一方、「森林吸収源対策などの地球温暖化対策に関する地方の財源確保」については、「平成 24 年度税制改正大綱」において、「平成 25 年度実施に向けた成案を得るべく更に検討を進める」とされている。

もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

よって、下記事項の実現を強く求めるものである。

### 記

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 24 年 9 月 10 日

内閣総理大臣	野田 佳彦 殿
財務大臣	安住 淳 殿
総務大臣	川端 達夫 殿
国家戦略担当大臣	古川 元久 殿
農林水産大臣	郡司 彰 殿
環境大臣	細野 豪志 殿
経済産業大臣	枝野 幸男 殿
衆議院議長	横路 孝弘 殿
参議院議長	平田 健二 殿

神奈川県 山北町議会

## 神奈川県放課後子どもプラン推進事業の県費補助に対する意見書

平成 20 年 7 月に神奈川県議会において『神奈川県放課後子どもプラン推進事業の県費補助に対する請願』（請願第 23 号）が採択され、そのことに伴い「神奈川県放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要綱」での県の補助金は、一年遅れながら国庫補助基準と同額となった。

ところが、実態としては市町村に対して出されている補助金は、県費補助要綱の 8 割を下回る金額となっている。

そのため、山北町が進めている放課後児童健全育成事業に対しても県で補助されない部分は国からも補助されず、山北町の負担を増加させることとなっている。

よって、神奈川県におかれては、放課後子どもプラン推進事業県費補助について、次の事項を強く要望する。

1. 放課後子どもプラン推進事業における県費補助基準について国庫補助基準を遵守すること。
2. 年度途中での箇所数の増加においても、国の基準を遵守できるよう財政措置を講ずること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 24 年 9 月 14 日

神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

神奈川県 山北町議会

# 教育環境

石田照子 議員



## Q 児童・生徒の安全を守るには

A いじめは絶対許さない不退転の決意で臨みます

### ■教育

**質問** 当町立小中学校のいじめの実態と現況は。

**回答** 友達のをとったり、からかいといったものはあるが、指導の結果解消している。いじめ問題については、教職員全員が重大性を認識しており、「いじめは絶対ゆるさない」という指導の徹底を図るよう努めます。

**質問** 滋賀県大津市男子中学生のいじめ報道を受け、教育委員会として何らかの対応はしたか。

**回答** 日常的に、未然防止、早期発見、早期対応に努めているが、今回の報道を受け、改めて各学校にいじめの確認と、指導の徹底を図りました。

**質問** 当町で大きな事件の発生がないのは、登下校を地域の

ボランティアの方々が見守ってくださっている事が、大きな抑止力になっているためだと思う。そこで、賀詞交歓会の一般表彰に学校として、そのような方々を推薦すべきであると思うが。

**回答** そのことについては、検討していきます。学校側の立場としては、教職員や子どもたちで感謝をこめて学校行事に案内し、お礼をのべていくことが大事であると考えます。



**質問** 近頃、生活の基本が教えられない親が増えていると聞きますが、子育て支援のプログラムに親の教育を組み込む必要がでてきたのではないかと。

**回答** 企画をたてても本当に足を運んでほしい方に来ていただけない、難しいのが現状だが、尻込みしては前に進めないで、検討していきます。

### ■火災報知器設置

**質問** 火災報知器の普及率アップには、自治体の取り組みが鍵を握ると言われるが、高齢化率の高い当町は、災害弱者になりうるであろう家庭に対して、積極的に行政が取り付けにかかわっていくべきだが。

**回答** 65歳以上の高齢者世帯、高齢者夫婦世帯、障害者世帯で持ち家の世帯に無料で給付し、現在284世帯に取り付けました。



住宅用火災報知器

最後に今年のビッグニュースはなんとといっても尾崎好美選手が、その中でも、三保中学2年の鈴木君が国交省の道路標語で2年前の加藤君に次いで、日本一に輝き最優秀賞を獲得しました。当校は、学校挙げて、日本一を目指しており、そんな強い気持ちと、意気込みがこのような快挙を生んだのではないかと思います。2学期も始まりましたが、子供たちが「いつの日も通いたくなる学校がある」そんな学校運営に全身全霊をかけていきたいと思えます。

「一般質問」は、議員が行財政全般にわたって執行者（町長）に疑問をただし、所信の表明を求める議員主導の政策論争です。原稿は、質問者本人の原稿を尊重し、編集しています。

# 観光振興

原 憲司 議員



## Q 花の里づくりによる観光振興を

A 各団体と連携・協力し花いっぱい運動に取り組みます

■花の里づくり事業の推進による観光振興を

質問 団体や個人への苗木・種子・球根の支給だけでなく、行政自らが参画した花の里づくり事業を推進し、豊かな自然と不思議な魅力を持つ花を活用した観光の振興・充実を図り、観光入込客や観光消費額の増加を図っていく考えは。

回答 花と緑のネットワーク化推進事業による花の植栽団体は十団体程あるので、各団体の交流の場を設け、花いっぱい運動に取り組むと共に、今後は観光につながるような取り組み方を工夫していきます。

質問 北海道中富良野町のファーム富田園にラベンダーやサルビア、マリーゴールドなどの花を見学到大勢の観光客が訪れているため、JR富良野線内にラベンダー畑を臨時的に設け、花の時期だけ臨時停車している。

当町でも、河村城址や洒水の

滝などに花の魅力を十分に活かした広い面積の花畑を設置し、観光入込客を増加させることが観光振興や山北駅の活性化につながると思うが、その方策は。

回答 自然豊かな当町に広い面積の花畑があれば良いと考えますので、核になるようなアイデアを頂ければ検討します。



ラベンダー畑(北海道中富良野町)

■三保地域のみつまたの花や紙すき機を活用した観光振興を

質問 三保地域のみつまたによる地域づくり実行委員会が丹沢

湖周辺にみつまたの木の植栽を行っているので、行政として、もっと積極的に参画すると共に、中川水源交流の里施設にある紙すき機を活用した和紙づくりや和紙製品の販売などを行い、三保地域を「みつまた・和紙の里」として全国にPRし、観光入込客や観光消費額の増加を図っていく考えは。

回答 地域おこしの重要な手段として考えているので、みつまたによる地域づくり実行委員会の活動を積極的に支援していくと共に、紙すき機の指導者を育成し、三保地域が「みつまた・和紙の里」となるように、いろいろな面から支援します。

質問 三保地域の方々が取り組んでいるみつまたの里づくりと武田信玄の隠し湯の中川温泉や樹齢2000年の筍杉を結びつけた観光振興の方策は。

回答 実行委員会から依頼があればできる限りの応援をします。

質問 紙すき機を活用した和紙

づくりを品川区や川崎市の交流事業で推進する考えは。

回答 和紙を使った卒業証書や名刺などの利用を検討しておりますが、更に、紙すき機の利用促進を検討します。

質問 職員と町民の方々が一緒に作った花の里づくり実行委員会を立ち上げる考えは。

回答 キーワードとして花は非常に大事なことであり、花をテーマにした組織を作りたいと考えています。



富士山とみつまた

# 基盤整備

渡辺良孝 議員



## Q 向原バイパス完成に伴い早急に関連道路の整備を

### A 大口橋付近の改修調査費を県で計上しました



三菱ガス化学(株)付近の県道721号線

今年の12月に国道246号線の向原バイパスが完成します。このことにより向原からの、関連道路アクセスの対策を、早急に行うべきであると考え質問します。

**質問** 向原から大口橋までの県道721号線の三菱ガス化学(株)の東側が交通のネックになっている。この道路区域は、工業地域の進入路でもある。企業を誘致してきた経緯から、地域の要望だけでなく、町が責任を持って県と協議をすることが必要と思うがどうか。

**回答** この箇所は、大型の対向車はどちらかが待機しなければならぬ状況で、一刻も早い改良が必要であり、今年度、県で調査費を計上しています。

**質問** この区域の県道改修は、2年前の議会でも質問されており、ここで動いてきて調査費がついたが、もっと県と連携して町として取り組むべきと思うがどうか。

**回答** 柑橘果工(株)付近まで狭い道路ですので町では、今まで以上に県に強く要望していきます。

**質問** 前にも質問したが、山北高校から松田町庶子の間、可能などころから先に町道に認定できないか。

**質問** この区域の県道改修は、2年前の議会でも質問されており、ここで動いてきて調査費がついたが、もっと県と連携して町として取り組むべきと思うがどうか。

**質問** 更に、現在町道中里線を山北高校の前まで拡幅していき、その先、山北高校裏まで延長していく計画です。

**質問** 保育園の0歳児受け入れに対する考えはどうか。

**回答** 現状は対応できている

**質問** 子育て支援センターは、近隣でも誇れる施設で、町内外の利用者から好評を得ている。もっとアピールすべきと思うが。

**質問** 園児送迎用車の待機広場の問題はどうか。また、その対策はどうか。



子育て支援センター



送迎時間帯の向原保育園

**質問** 心のこもった子育て支援は、金銭だけではないと思う。給食費の補助についてはどのように考えるか。

**回答** 町の財政事情から、今後見直す考えです。

# 山北駅活用

川村俊治 議員



## Q 利用者の利便性拡大に取り組む考えはないか

A 国府津から IC カードが使えるように要望しています

山北駅無人化に伴い、NPO 法人「情緒豊かな町づくり」への委託による切符販売が5月から開始されました。

一方、静岡・神奈川両県の14市町で構成する御殿場線輸送力増強促進連盟は、精力的に御殿場線の輸送力増強に取り組んでいます。

①御殿場線御殿場～沼津間、②津方面は23本、③無人駅は御殿場～沼津間で2駅、国府津方面は松田駅、下尊我駅を除き無人

③御殿場～沼津間は無人駅を含め IC カードが使える、国府津方面は使えない。

質問 山北駅の切符委託販売が始まったが、成果や問題点をどのようにとらえているか。

回答 一日平均70名が駅で切符を購入し、月平均の売り上げは約65万円です。近隣の方々が待

合室に花を飾ってくれたり、俳句の短冊を並べてくれたり、駅舎を中心として新しいコミュニティが生まれています。

問題点としては、駅舎のごみ処理、落し物の取り扱い、ICカードに関する問い合わせへの対応3点です。

質問 御殿場～沼津間に比べ、御殿場～国府津間の輸送力が劣りする。改善の予定はあるか。

回答 JR東海に継続して利便性向上の要望をしているが、沼津方面を国府津方面より優先しているとは思えないダイヤを組んでいると思われるので、強く改善を要望しています。

質問 国府津方面の乗客はJR東日本や他の私鉄に乗り換える客が多いと思われるので、JR東海は、サービスの内容に差をつけているのではないか。

回答 それに類する質問は毎回行っています。

質問 JR東海が御殿場～国府津間にTOICA端末を設置す

る考えがなければ、JR東日本と交渉してSUICA端末を設置できないか。

回答 JR東海のエリアにSUICA端末を置くことはできないと思うので、国府津の乗り換え時に精算できる端末を設置するようJR東日本に要望しています。

質問 JR東日本とJR東海をまたがったの利用はできない。

回答 現状では技術的な問題でできないと回答を得ています。現段階での解決策としては、

### ※TOICA、SUICAとは

どちらもICカード乗車券で、自動改札機の読み取り部に軽く触れるだけで通過できる。あらかじめカードにチャージ(入金)しておくだけで、その都度乗車券の購入や乗り越し精算を行う必要がなく、財布などから定期券やカードを出す手間も省ける。

TOICAはJR東海、SUICAはJR東日本が発行している。会社間をまたがっては利用できないが、各会社のエリア内ではどちらのICカードも利用できる。



ICカード TOICAとSUICA

国府津駅と山北駅にTOICA端末を設置できればICカードで精算できます。

# こころの健康

熊澤友子 議員



## Q こころの体温計を導入する考えは

A 導入効果の情報を得て検討します

**■自殺防止対策について**  
我が国の自殺者数は、年間3万人を超える深刻な状況です。特にうつ病等の精神疾患が関連することが多く4割強に及んでいます。うつ病患者数は100万人を超え、国民病とも言える状況で急増しました。

**質問** 町の自殺防止対策の現状と取り組みは。

**回答** 平成22年度から心の健康対策事業をおこなっており、のぼり旗の設置や、リーフレットの全戸配布をおこないました。平成23年度は幼児、小・中学生向けの、心と命の大切さを題材とし図書やDVDを購入し、配布しました。平成24年度は、心と体の健康づくり講演会や朗読劇等を実施する計画です。

**質問** 今後の取り組みとして、担当課と他の職員にも、ゲートキーパーの講習を受けていただき、相談に来られた方への対応を充実させる考えは。



パソコンなどでストレスチェックできる「こころの体温計」

**回答** 健康普及員、民生委員等から順次受けていただくよう、今年度から計画しており、職員も参加していきます。

※ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

**質問** うつ病防止対策として、こころの体温計を導入する考えは。

**回答** こころの体温計は、パソコンや携帯電話を利用して、気軽にいつでも、どこでも健康状態や人間関係、住環境など簡単な質問に答えることで、ストレス

ス度や落ち込み度がわかるメンタルヘルスチェックシステムです。医学的診断をするものではないので、どの程度の効果があるか情報を得て検討します。

**■災害に強いまちづくりについて**  
東日本大震災では、多くの学校施設で天井や照明器具などが落下する被害が発生しました。体育館などの天井材崩落は、致命的な事故を引き起こす可能性があります。災害時の避難所となるため、対策が急務となります。

**質問** 学校施設の天井、壁などの落下から命を守るための非構造部材の耐震対策は。

**回答** 耐震診断を専門業者に委託し、改良等の必要がある場合は順次対策を講じていきます。

**質問** 児童の防災頭巾をヘルメットに変える考えは。

**回答** ヘルメット型防災頭巾は1セット当たり5000円程度

で、サイズは児童・生徒の成長にあわせて対応できます。学校や保護者の意見も聞きながら、安全性を考慮し、検討します。

**質問** 昨年9月定例会で、被災者支援システム導入の質問をいたしました。進捗状況は。

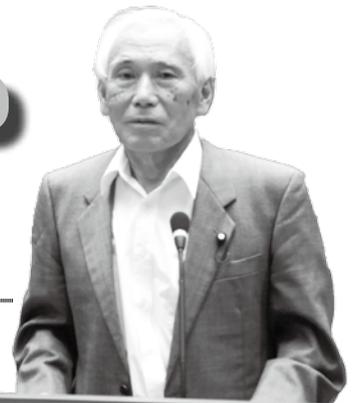
**回答** 地域防災計画が改定される来年3月までに運用マニュアルを整備し、まず担当職員から操作研修を受講させ、他の職員にも実施していきます。



折りたたみ式ヘルメット

# まちづくり

岩本章治 議員



## Q 元気な山北町への達成度は

A 任期半ばの成果は 47%です

**質問** 町長就任2年を経過、人口が減少に転じ、高齢化が見えてくる。「元気な山北町」への取り組みの目指す姿の達成度は

**回答** 町長就任時の所信表明で申し上げた取り組み内容は、46項目ありますが、町民が安全で快適な生活が送れるよう取り組んでいます。2年間の取り組み状況は約47%の達成率と自己評価しています。

**質問** 山北駅北側の集合住宅、東山北駅エリアの活性化策も始動している。その進捗状況は。

**回答** 山北駅前集合住宅は1グループから提案書が提出され審査中で、9月下旬には落札者が決まる予定です。隣接地の土地建物等の権利者との契約も順調に推移しています。

東山北エリアの活性化は、東山北1000まちづくり基本計画に基づき、大型商業施設の誘致を図ることを呼び水として、周辺の住宅開発の活用につなげたいと考えています。



山北駅北側元気づくりプラン 集合住宅等イメージ図

**質問** 近隣市町では大型店舗が開店、あるいは進出するニーズがある。駅北側の商業施設がオープンできる分析ができていますか。

**回答** 実施計画を策定し募集要綱案を公表、アンケート調査も実施して、どのような業種が立地可能か等を見据えて、正式に募集をかけたかと考えています。

**質問** 商工会に依頼して特産品

が開発されたが店頭が見えない。観光客が少ないから店頭に並ばないのか、なかなか活性化が見えてこないか。

**回答** おにぎりはイベントを通して販売し、最中は注文販売になっています。品数も増やし、十分流通できることも必要で、商圏を広げるなどの検討をしています。

**質問** 人口が減り続け、空き地・空家の不動産看板が目につく。町の空家等の登録制度を強化する考えはあるか。

**回答** 山北町だけでなく全国的な問題であり、安全・安心に住める町、子育てに厚い町、お年寄りに優しい町をつくり、生活の利便性を整え元気な町にして、人口減少を食い止めたと思っています。

**質問** スマートインターができれば活性化が期待できる。国や県に出向いていますか。

**回答** 神奈川県が中心になって国交省横浜事務所、中日本高速道路、町の4者で勉強会を重ね、関東地方整備局に報告にしています。実現化にはクリアしなければならぬ問題があり、費用対効果が最大の課題で精査中です。

**質問** 政局絡みで地方交付税が延期になるニュースが報じられている。町の施策に支障が生じないか。

**回答** 地方交付税が減額されるのではなく延期ですので、当面は施策には支障がありません。



# 人材育成

藤原 浩 議員



## Q 将来を見据えての人事交流は

A 管理職候補の人材育成を積極的に行ないます

### ■ 職員の人事交流

**質問** 現在山北町は県・他市町との人事交流を行っているが、その内容とねらいは何か。

**回答** 県へは、山北町が直面している子育て支援等の問題解決のために次世代育成課へ派遣しています。

また、市町村の地方分権一括法関係の法令・例規等の整備、情報収集をねらいとし、市町村行政課へ派遣しています。県からは、学校教育課に指導主事が派遣されています。中井町へは、今後の活用も考え、税務課に派遣をしています。大井町からは商工観光課に職員が派遣されています。

**質問** 5町の枠では、「在勤5年以上で四十歳代中頃までの一般職」という取り決めがあることなので、管理職の人事交流が難しいというのには理解しましたが、町ではソフト事業の立案・実施が非常に重要になってくる。それを考えると将来の幹

部候補となる人材を見据えての人事交流が必要だと思うがどうか。

**回答** 職員の人事交流については、管理職は急には無理だとしても、管理職候補の人材育成については、交流を通して積極的に行なっていきたいと考えています。



### ■ 婚活支援

**質問** 婚活支援事業について24年度にモデル的にイベント開催を検討しているとの事だが、進捗状況はどうか。

**回答** 先進事例を参考に庁内会議で検討を進め、7月に山北町婚活プロジェクト作業部会を立ち上げ、11月上旬に実施を予定しています。

**質問** 町には森林セラピー・トレイルラン等使える素材がいろいろあるが、庁内各課と商工会等の既存団体と連携したプロジェクトチームであつたとして

**回答** 民間の婚活事業にはトラブルもあると聞いている。町で行なうことの「安心感」と「出合いの場づくり」をさらに進め、商工業の発展につなげていきたいと思ひます。



11月開催の婚活チラシ

# 協働のまちづくり

府川輝夫 議員



**Q** 尾崎好美選手の応援に学ぶ元気な山北づくりは

**A** 協働の力によるまちづくりに努めます

ロンドンオリンピック女子マ

ラソン尾崎好美選手の力走に、  
神奈川新聞1面では「刻んだ流  
麗な走り」と称え、また、多く  
の町民も歴史的な活躍を名譽に  
想い、強く感激いたしました。

岸地区日向の有志「好美カッ  
テ連」は、好美選手の地元とし  
て岸連合自治会と住民との「協  
働の力」により、強い想いで応  
援態勢を築き、岸地区住民が一  
体となる「地域力」による熱く  
楽しい応援となりました。

好美選手への応援のあり方を  
教訓に、町の応援態勢の総括  
と、「元気な山北」の実現に向  
けたまちづくりについて質問し  
ます。

**質問** 町と尾崎好美選手山北町  
後援会の役割は。

**回答** 後援会は、町内の団体で  
構成され、会費はお願いせず、  
Tシャツの作成販売とパブリッ  
クビューイングの計画・運営を  
行い、運営経費を町の負担とし

ました。

**質問** 経費を町負担するなら  
ば、町長自ら後援会長となり旗  
振りをし、自治会等を活用し、  
町民一体となる体制は考えな  
かったのか。

**回答** 様々な意見を聞き、私が  
後援会長になることは適当では  
ないと判断しました。  
**質問** 職員へのTシャツ購入  
は、当初計画にはなく、なぜ直  
前の7月18日に突然指示された  
のか。

**回答** 指示や強制ではなく、職  
員からの相談によるものです。  
**質問** いち早く応援態勢を作る  
うと、6月議会で横断幕の追加  
作成が決定したが、完成までな  
ぜ1か月もかかったのか。

**回答** 8月のマラソンに合わ  
せ、最新の写真により作成しま  
した。

**質問** 当初作成の横断幕が6月  
の台風で町から消え、追加の横  
断幕も町民の目に触れず、何の  
目的で作成・掲示したのか。

**回答** 町民の機運を高め、町内  
外に好美選手の出身町と知って  
いただく目的です。

**質問** パブリックビューイング  
は満席となり、カッテ連が無料  
配布したスティックバルーンに  
より、一層盛り上がりました。

また、町が準備した芳名帳の  
案内やプログラムの配布もカッ  
テ連が対応しておりました。町  
が積極的に応援に対する配慮を  
すべきではなかったか。

**回答** 町の職  
員も、セレモ  
ニー等重複し  
た分担のなか  
で、対応しま  
した。個々に  
は反省すべき  
ところがあり  
ましたが、応  
援の想いを職  
員一人ひとり  
が持つて一生  
懸命取り組み  
ました。

**質問** 岸地区では応援を通じ、  
地域の協働の力が発揮できまし  
た。町の総括としては、元気な  
山北づくりに向け、来年度予定  
定の山北町自治基本条例の原則  
である、住民と町長・町の協働  
の力が必要ではないか。

**回答** そのように考えておりま  
す。



「好美カッテ連」作成の応援グッズ

